

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１４～２０℃台を示し、かなり低めからやや低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マイワシなどが１日１統当たり２５トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが１日１統当たり２トンの水揚げ（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが１日１統当たり２２トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、１日１統当たり８０kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり２．７トンの水揚げで、前週の６３％（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では、１日１統当たり７kgの水揚げで、前週の４７％（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり４６４kgの水揚げで、前週の７２％（前年並み）。
- 定置網――五島有川地区では、マサバなどが１日１統当たり１９１kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが１日１統当たり４８８kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが１日１統当たり９６kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが１日１統当たり５０５kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが１日当たり２８２kgの水揚げで、前週の１．３倍（前年を下回った）。野母地区では、マアジが１日１統当たり９kgの水揚げで、前週の１．８倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（５／１～５／９の９日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、切上中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖、島根半島沖で僅か水揚げあり。

鳥取県西部（沖合船）１日延１隻、総計１３０箱、スルメイカを漁獲、魚体は（２０～４０入）。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>